



2026（令和 8）年度【大学院】 外国人留学生入学試験要項

目 次

授業科目に関する問い合わせ先一覧	1
アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）	2
1. 募集研究科・専攻・募集人数	12
2. 試験場（前期入試・後期入試）	
3. 入試日程等	13
4. 出願資格	14
5. 出願手続	16
6. 出願書類	22
7. 受験票	23
8. 選考方法・試験科目・試験時間・配点	
9. 受験上の注意事項	31
10. 合格発表	
11. 入学手続	32
12. 入学辞退	
13. 学費等	
14. 2025 年度 大学院・外国人留学生入学試験結果表	
15. 2025 年度 近畿大学外国人留学生特待生・奨学金実績	33
16. 在留資格認定証明書の申請について	

問い合わせ先・出願書類郵送先

近畿大学グローバルエデュケーションセンター

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

E-mail : isc@itp.kindai.ac.jp

TEL : (06)4307-3081 FAX : (06)6729-2387

授業科目に関する問い合わせ先一覧/Contact Information

※志願者は出願前に下記「研究科概要」より専修科目及び担当教員を確認の上、志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認してください。担当教員の連絡先が分からない場合は各学生センターにお問い合わせください。

研究科概要

<https://www.kindai.ac.jp/campus-life/international-exchange/foreign-student/exam/>

- 東大阪キャンパス 〒577-8502 東大阪市小若江3-4-1
Higashiosaka Campus 3-4-1 Kowakae, Higashiosaka City, Osaka 577-8502

研究科 Graduate School	問い合わせ先 Contact	E-mail/Tel
法学研究科 Law	法学部学生センター Faculty of Law, Student Services Center	hou-kym@itp.kindai.ac.jp (06)4307-3041
商学研究科 Business Administration	経営学部学生センター Faculty of Business Administration, Student Services Center	keiei-kym@itp.kindai.ac.jp (06)4307-3045
経済学研究科 Economics	経済学部学生センター Faculty of Economics, Student Services Center	keizai-kym@itp.kindai.ac.jp (06)4307-3043
総合理工学研究科 Science and Engineering	理工学部学生センター Faculty of Science and Engineering, Student Services Center	rikoh-kym@itp.kindai.ac.jp (06)4307-3047
薬学研究科 Pharmacy	薬学部学生センター Faculty of Pharmacy, Student Services Center	yaku-kym@itp.kindai.ac.jp (06)4307-3058
総合文化研究科 Interdisciplinary Human Studies	文芸学部学生センター Faculty of Literature, Arts and Cultural Studies, Student Services Center	bun-kym@itp.kindai.ac.jp (06)4307-3061
	総合社会学部学生センター Faculty of Applied Sociology, Student Services Center	sougousyakai@itp.kindai.ac.jp (06)4307-3062

- 奈良キャンパス 〒631-8505 奈良市中町3327-204
Nara Campus 3327-204 Nakamachi, Nara City, Nara 631-8505

研究科 Graduate School	問い合わせ先 Contact	E-mail/Tel
農学研究科 Agriculture	奈良キャンパス学生センター学生支援課 Nara Campus Student Services Center	nj_kyomu@nara.kindai.ac.jp (0742)43-1849

- 和歌山キャンパス 〒649-6493 和歌山県紀の川市西三谷930
Wakayama Campus 930 Nishimitani, Kinokawa City, Wakayama 649-6493

研究科 Graduate School	問い合わせ先 Contact	E-mail/Tel
生物理工学研究科 Biology-Oriented Science and Technology	和歌山キャンパス学生センター教務・学生担当 Wakayama Campus Student Services Center	bost-kym@waka.kindai.ac.jp (0736)77-3888 内線[ext.]2022

- 広島キャンパス 〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1番
Hiroshima Campus 1 Umenobe Takaya, Higashi-Hiroshima City, Hiroshima 739-2116

研究科 Graduate School	問い合わせ先 Contact	E-mail/Tel
システム工学研究科 Systems Engineering	広島キャンパス学生センター教務学生グループ大学院担当 Hiroshima Campus Student Services Center	kyomu@hiro.kindai.ac.jp (082)434-7006

- 福岡キャンパス 〒820-8555 福岡県飯塚市柏の森11-6
Fukuoka Campus 11-6 Kayanomori, Iizuka City, Fukuoka 820-8555

研究科 Graduate School	問い合わせ先 Contact	E-mail/Tel
産業理工学研究科 Humanity-Oriented Science and Engineering	福岡キャンパス学生センター学生支援課 Fukuoka Campus Student Services Center	kym@fuk.kindai.ac.jp (0948)22-5655

アドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針)

本学は、未来志向の「実学教育と人格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育の目的として掲げてきました。この「建学の精神」と「教育の目的」は、知識基盤社会へ転換しようとする21世紀の日本において、いっそう必要とされる理念であると自負します。

本学が、総合大学として各学部の特徴を生かしながら、共に手を携えて目指そうとしているのは、「実学教育」と「人格の陶冶」の融合です。真の「実学」とは、必ずしも直接的な有用性を志向するだけではなく、その事柄の意味を学び取ることを含みます。現実立脚しつつも、歴史的展望をもち、地に足をつけて、しなやかな批判精神やチャレンジ精神を発揮できる、創造性豊かな人格の陶冶を志向するものです。「自主独往の気概に満ち」、生涯にわたって自己の向上に励み、社会を支える高い志をもつことが「人に愛され、信頼され、尊敬される」ことにつながります。このような学生を社会に送り出すことが、これからの時代に、本学が目指す社会的使命であります。

近畿大学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）は、上述の教育方針に基づいており、本学の「建学の精神」と「教育の目的」に共感する入学者を国内外から広く受入れます。

- 1 本学が求める基礎学力と倫理観を備える人。
 - 2 謙虚に学ぶ姿勢を有するとともに、自ら課題を発見し解決していく意欲にあふれる人。
 - 3 「人に愛され、信頼され、尊敬される」前に、まず人を愛し、信頼し、尊敬することのできる人。
 - 4 社会のニーズに対応できる実学や教養及び国際性を身につけたい人。
 - 5 自分の得意分野を伸ばし、社会に貢献したいと考える人
- を学生として受入れることを目指し、多様な選抜制度を用意しています。

法学研究科

法律学専攻

本研究科の教育目的は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶を踏まえて、法学及び政治学の分野において、その根底に横たわる重要問題や最先端の内容を教授・研究し、学生に修士（法学）や博士（法学）にふさわしい幅広い基盤的な専門知識・考え方を修得させるとともに、専攻する各研究分野における応用力を身につけさせ、国際社会、国家または地域社会の発展に向けて、実際に指導的な役割を果たし得る多種多様な専門家を養成することにあります。したがって、具体的には以下のような人の入学を希望します。

博士前期課程

- 1 現代社会における諸問題を解決するため、法学・政治学の観点からさらに研究を深めようとする人。
- 2 法学・政治学に関連する資格を取得し、それを通じて有意義な社会活動に取り組もうとする人。
- 3 法学・政治学についてさらに研究を深め、社会人としての活動にその研究において培った能力を生かそうとする人。

本研究科の入学選考では上記の人材を選抜するために、学内推薦入学選考（7月）、学内入学選考（9月、2月）、一般入学選考（9月、2月）及び社会人入学選考（9月、2月）を実施し、入学者各自の適性及び経験に応じた入学選考を選択できるようにし、選考にあたっては筆記試験・口頭試問等を行い総合的に判断しています。

博士後期課程

- 1 法学・政治学の各専攻分野において自立した研究者として独創的な研究を行おうと意欲する人。
- 2 国内・国外の多様な方面で、法学・政治学に関する高度な専門性が求められる分野で活躍しようとする人。
- 3 法学・政治学の専門性を踏まえて、高度に複雑な現代社会における問題を発見し、その解決案を提示して、その成果を社会人としての活動に活かそうとする人。

本研究科の入学選考では上記の人材を選抜するために、一般入学選考（2月）及び社会人入学選考（2月）を実施し、入学者各自の専門的学識・修士論文等に加えて適性及び経験に応じた入学選考を選択できるようにし、選考にあたっては筆記試験・口頭試問等を行い総合的に判断しています。

商学研究科

商学専攻

商学研究科は、商学、経営学、会計学、ITビジネス、キャリア・マネジメント学、スポーツマネジメントの6つの分野のうち、いずれかの分野に軸足を置いて高度な専門知識を修得し、実務界・学界等で活躍・貢献できる人材を育成することを目的としています。下に示すように、本研究科の前期課程では、それらの6つの分野に関心を持ち、高度な専門知識の修得に意欲を持つ人を積極的に受け入れています。また、本研究科の後期課程では、専攻しようとする前述の6分野について、将来、研究者になることを目指し、より高度な専門知識と豊かな学識の修得に意欲を持つ人を受け入れています。

博士前期課程

1. 本研究科の6つの分野のうち、専攻しようとする分野に強い興味・関心と基礎知識を持つ人。
2. 高度な専門知識の修得に意欲を持つ人。
3. 高度な専門知識を有するスペシャリストとして実務界で活躍することを希望する人。

博士後期課程

1. 専攻しようとする分野に強い興味・関心と高度な専門知識を持つ人。
2. 高度な研究能力の修得に意欲を持つ人。
3. 外国語に関する読解力等の十分な語学力を有する人。

上記のポリシーを実現するために、国内外から広く人材を受け入れることを想定して、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績、学部成績、博士前期課程成績）に加えて口頭試問を課します。これによって、学士課程（博士前期課程志願者）あるいは博士前期課程（博士後期課程志願者）における基礎学力、語学力、国際的な視野と高い倫理観、商学専攻関連の高度な専門知識、社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価を通じて選抜を行います。なお、外国人留学生入学試験では、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」の結果も加味します。

経済学研究科

経済学専攻

経済学研究科の教育目的は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、経済学と関連領域における高度な専門知識の修得と研究遂行能力を養成することで、現実の経済・社会が直面する様々な問題に対して積極的に関与できる人材を育成することにあります。また、実社会において活躍している社会人に対しては、経済学の高度な専門知識の修得を通して、より幅広く深い見識を有する人材を育成することにあります。これを実現するために、以下のような学生を求めます。

博士前期課程

1. 経済学の知識を活用して、現実の経済・社会が直面する諸問題を具体的に解決したいという強い意欲を持つ人。主に「学内入学選考」と「一般入学選考」によるもので、経済学の基礎科目・専門科目と外国語の成績及び口頭試問の総合的な評価によって選抜を行います。
2. 高度な専門能力の修得に意欲を持つ人。主に「学内推薦入学選考」によるもので、本学部の成績と推薦書及び口頭試問の総合的な評価によって選抜を行います。
3. 社会人としての自らの経験を踏まえて、経済学を学びより幅広い見識を持ちたいという意欲を持つ人。主に「社会人入学選考」によるもので、社会人として実績のある受験生を対象にしています。志望する研究題目と研究計画書を出願時に提出し、これに関する論述試験と口頭試問の総合的な評価によって選抜を行います。「夜間主コース」も設けて、働きながら大学院を修了できるように配慮しています。

博士後期課程

1. 経済学の各分野において、自立した研究者として独創的な研究を行う意欲を持つ人。
2. 高度な専門知識を要求される職業人を目指す人。

上記のポリシーを実現するために、専修科目と外国語の成績及び口頭試問の総合的な評価によって選抜を行います。

総合理工学研究科

理学専攻

理学専攻は自然を解明することを目標とし、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーで示した教育方針に基づいて、数理解析、物理学、機能性分子化学、生物・環境化学の各分野に分かれて先端的な研究活動を行うとともに、各分野にまたがる複合的な研究もおこなわれています。これらの研究に携わる研究者による積極的かつ周到な教育・指導により、先端的な科学研究者、高等教育者、技術者を育成することを目指しています。このために、本専攻は以下のような学生を受け入れることを望みます。

1. 未知のことに興味を持ち、筋道を立てて解明する意欲を持つ人。
2. 自然科学全般および専門領域における研究のための基礎学力を有する人。
3. 新たに得た知見を広め、役立てる意欲を持ち、努力する人。

さらに理学専攻に入学するまでに、各分野で行われている先端的な研究を学修するために必要な語学力（日本語および英語による読解力、表現力、コミュニケーション能力）と数学・物理学・化学・生物学に対する基礎的理解力が修得できていることが望まれます。上記に挙げられた人物像を備えた人材を国内外から広く受け入れるために、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績、学部成績、博士前期課程成績の一部または複数の成績）に加えて口頭試問を課すことによって、博士前期課程志願者あるいは博士後期課程志願者における基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者・研究者としての意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。

環境系工学専攻

環境系工学専攻では、各課程において以下のような学生を受け入れます。

博士前期課程

地球環境保全や社会基盤形成に関係する学問や研究に対する意欲と実行力に満ち、研究者倫理・技術者倫理を有する入学者を求めます。

1. 環境系工学に関する基礎知識を有する人。
2. 環境系工学に関する研究テーマに取り組む意欲があり、専門的課題に対して研究計画を立てられる人。
3. 環境系工学における技術者・研究者として、活躍したい人。

博士後期課程

地球環境保全や社会基盤形成に関係する学問や研究に対する意欲と実行力に満ち、研究者倫理・技術者倫理を有する入学者を求めます。

1. 環境系工学に関する修士としてふさわしい専門知識と研究能力を有する人。
2. 環境系工学に関する研究テーマに自ら取り組み、問題の発見・解決に意欲があり、研究計画を立てられる人。
3. グローバルな視点を持ち、国内外で環境系工学に関する卓越した研究者を目指す人。

上記に挙げられた人物像を備えた人材を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選抜では、外国語と専門科目の成績に加え、口頭試問を実施し、これらの結果を総合的に評価した入学者選抜を行います。

薬学研究科

薬科学専攻 博士前期課程

近畿大学建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」に即して、生命科学の進歩に貢献し、国際的に活躍できる人材の育成、および人類社会の福祉と持続的発展に貢献するために、薬科学専攻博士前期課程では、創薬科学および生命薬学分野において多岐に亘る専門的能力を有し、グローバルな視点と豊かな創造力だけでなく健全な倫理観を持って活躍できる人材を育成します。幅広い創薬関連分野で、医薬品の創製・開発や安全性の向上、あるいは薬学的観点から生命科学の進歩に貢献しうる人材を育成するために、次のような学生を求めています。

1. 薬学および生命薬学に関する確かな基礎学力を有し、自ら課題を発見し探求する意欲のある人。
2. 薬学および生命薬学領域において、研究活動を遂行するためのコミュニケーション能力を持っていること。

3. 薬学および生命薬学に関する情報収集を行い、論理的思考により問題解決することに意欲を持つ人。
4. 将来、薬学・生命科学研究者として国際社会に貢献する意欲と倫理観を備えた人。

上記のポリシーを実現するため、入学選考においては、薬学研究科入学選考における評価基準をもとに、志願者の様々な能力や倫理観について、外国語（英語）能力に関する筆記試験、専門分野の学識に関する学力試験、小論文、口頭試問などを実施し、これらの結果を総合的に評価します。

薬科学専攻 博士後期課程

近畿大学建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」に即して、生命科学の進歩に貢献し、国際的に活躍できる人材の育成、および人類社会の福祉と持続的発展に貢献するために、薬科学専攻博士後期課程では、創薬科学および生命薬学分野において多岐に亘る高度な専門的能力を有し、グローバルな視点と豊かな創造力だけでなく高い倫理観を持って活躍できる人材を育成します。創薬科学および生命薬学分野の研究を通じ、生命科学の進歩に貢献しうる人材を育成するために、次のような学生を求めています。

1. 薬学および生命薬学に関する幅広い知識と技能を有し、主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求する意欲のある人。
2. 薬学および生命薬学領域において、研究活動を遂行するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を持っていること。
3. 薬学および生命薬学に関する情報収集を行い、高い創造性を備え、論理的思考により問題解決することに意欲を持つ人。
4. 将来、薬学・生命科学研究を牽引し、国際社会に貢献する意欲と倫理観を備えた人。

上記のポリシーを実現するため、入学選考においては、薬学研究科入学選考における評価基準をもとに、志願者の様々な能力や倫理観について、外国語（英語）能力に関する筆記試験、専門分野の学識に関する学力試験、小論文、口頭試問、プレゼンテーションなどを実施し、これらの結果を総合的に評価します。

薬学専攻

近畿大学建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」に即して、高度医療の実践と、科学の進歩に貢献できる人材を育成し、人類社会の福祉と持続的発展に貢献するために、薬学専攻では薬剤師として医療に従事するだけでなく、研究者の観点から医療における諸問題を解決し、より高度な医療の実現に貢献できる人材を育成します。また、薬剤師としての視点をもって、新しい医薬品の研究や臨床開発、行政等幅広い分野で活躍する人を輩出していくことも念頭に置いています。具体的には医療薬学に関連する研究を通じ、研究者又は専門薬剤師の観点をもって臨床薬学の領域で活躍できる高度医療人および医療薬学における知識と経験を生命科学の進歩に応用できる人材の育成を目的としています。したがって、以下のような学生を求めています。

1. 医療薬学に関する幅広い知識と技能を有し、主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求する意欲のある人。
2. 医療薬学領域において、研究活動を遂行するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を持っていること。
3. 医療薬学に関する情報収集を行い、論理的思考により問題解決することに意欲を持つ人。
4. 将来、臨床薬学研究や生命薬学研究を通じ、幅広い分野でリーダーとして国際的に活躍する意欲と倫理観を備えた人。

上記のポリシーを実現するため、入学選考においては、薬学研究科入学選考における評価基準をもとに、志願者の様々な能力や倫理観について、外国語（英語）能力に関する筆記試験、専門分野の学識に関する学力試験、小論文、口頭試問、プレゼンテーションなどを実施し、これらの結果を総合的に評価します。

総合文化研究科

日本文学専攻

総合文化研究科日本文学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、専門的な知識によって自ら新しい価値を生み出すことのできる柔軟な思考力と豊かな創造力を持った人材を育成するため、以下のような意欲と能力を持つ人を入学者として受け入れます。

1. 日本文学・日本語学・創作・批評などの学問分野の知識や技能の修得に加えて、それを活用して教育・文化に関わる仕事に携わりたいという意欲と能力を持つ人。
2. 日本文学・日本語学の学問分野に興味を持ち、その研究を通して文学や言語について考察し、かつ研究者としての基礎を身につけたいという意欲と能力を持つ人。

3. 創作・批評の分野に興味を持ち、それについて学ぶことを通して、現代社会が直面する諸問題に対する問題意識を獲得したいという意欲と能力を持つ人。

上記のポリシーを実現するため、日本文学専攻では出願資格を明確に定め、年間2回の入学試験を実施します。入学試験では、外国語の筆記試験、専門分野に関する筆記試験と口頭試問を行い（出願資格により異なる）、研究計画書の審査を加えて入学者選抜を行います。

英語英米文学専攻

総合文化研究科英語英米文学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、ジャンルを超えた広い視野をもって、英語という言語の性質を探究し、英語圏文学作品の研究を目指す人を国内外から広く受け入れ、専門性と関連領域の学識を高めていきます。このような方針に基づき、以下のような学生を求めます。

1. 言語としての英語や英語圏の文学作品に強い関心があり、高度な英語力を持つ人。
2. 英語圏の文学作品について文学理論を援用して研究したい人。また、関連領域としての英語教育・応用言語学について学識を高めたい人。
3. 研究者、教員、及び、高度な言語の知識や文学の理論を駆使した職業に就くことを目指す人。

上記のポリシーを実現するため、英語英米文学専攻では志願者による研究計画書の審査や語学・専門分野に関する試験などに加え、口頭試問を実施し、これらの結果を総合して合否判定を行います。

文化・社会学専攻

総合文化研究科文化・社会学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、複雑化する現代社会を理論と実践からの確に理解し、あるいは歴史の解明を通じて、現代社会の課題に取り組む人材を育成するため、以下のような意欲と能力を持つ志願者を受け入れます。

1. 歴史、現代文化、社会、都市などの専門分野に興味を持ち、その研究を通して様々な人間の営みを根源的に考察し、多角的に理解しようとする人。
2. 専門分野に関する知識や技能の修得に加えて、諸科学を横断する柔軟で幅広い教養と豊かな創造力を身につける意志を強く持ち、そのために必要な基礎学力を有する人。
3. 分化された職能にとどまらず、総合的な思考力、判断力をもって文化や知識の発信を行い、国際社会や地域社会で指導的役割を果たそうとする意欲を持つ人。

上記のポリシーを実現するため、志願者による研究計画書の審査や語学・専門分野に関する試験などに加え、口頭試問を実施し、これらの結果を統合して合否判定を行います。

心理学専攻

総合文化研究科心理学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、科学的な態度と確かな学識、論理的正当性に裏打ちされた、研究活動を行うだけでなく、人々のウェルビーイングおよび人間の生の基盤である社会の改善・発展にとって必要な解決すべき問題を拾い上げ、その解決に貢献する人材の育成を目的としています。したがって、以下のような意欲と能力を持つ志願者を受け入れます。

1. 心理、臨床心理などの専門分野に興味を持ち、その研究を通して様々な人間の営みを根源的に考察し、多角的に理解しようとする人。
2. 専門分野に関する知識や技能の修得に加えて、諸科学を横断する柔軟で幅広い教養と豊かな創造力を身につける意志を強く持ち、そのために必要な基礎学力を有する人。
3. 分化された職能にとどまらず、総合的な思考力、判断力をもって文化や知識の発信を行い、国際社会や地域社会で指導的役割を果たそうとする意欲を持つ人。

上記のポリシーを達成するために、出願資格を明確に定め、年間2回の入学試験を実施します。入学試験では、外国語（英語）能力に関する筆記試験と、専門分野の基本的知識および論理性や分析力を評価する筆記試験、そして心理学的関心、科学的思考力、研究活動や臨床活動に対する意欲等を評価するために、志願者による研究計画書の審査や口頭試問を実施し、これらを総合的に評価し、入学者を選抜します。

農学研究科

農業生産科学専攻

農業生産科学専攻では、本学の建学精神である「実学教育」と「人格の陶冶」をふまえ、農学に係る自然科学から社会科学までの幅広い知識と技術を修得し、身につけた高度な能力を実社会が抱える様々な問題の解決

に実践、応用できる人材の育成を目指しています。また、農業生産の現場における諸課題を解決する能力を有し、環境と健康に配慮した作物の生産と流通に関連する各分野で活躍できる創造性豊かな人材の育成を目指しています。これを実現するために、以下に挙げるような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れることを目的とし、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施いたします。博士前期課程の選考・入学試験は、志願者の基礎学力やコミュニケーション能力について、学力試験（英語と専門科目）および口頭試問により行います。博士後期課程の選考・入学試験は、口頭試問により行います。口頭試問に関しては、以下に挙げる4つの項目をもつ人材をルーブリック（取り組み姿勢、目的・背景の理解、研究遂行力、卒業研究結果に対する解釈力・考察力、卒業研究および修士論文発表のプレゼンテーション能力）で総合的に評価しています。

博士前期課程

1. 農業生産科学専攻博士前期課程の教育を理解し修得するのに必要な学力と学修・研究意欲を有する人。
2. 農学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の読解力と理解力を有する人。
3. 本専攻分野の学問的発展と社会的貢献を果たすため、幅広い専門知識、応用力、実践力の修得を目指す人。
4. 本専攻分野の教育・研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力を高め、役立てる能力と意欲のある人。

博士後期課程

1. 農業生産科学専攻の教育を理解し、技術者、研究者、指導者として自立するために必要な知識と技術を学修し研究する意欲を有する人。
2. 農学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の読解力と理解力に加えて、母国語のみならず英語でのコミュニケーション能力を学修する意欲のある人。
3. 本専攻分野の学問的発展と国内外における社会的貢献を果たすため、幅広い専門知識、応用力、実践力の修得を目指す人。
4. 本専攻分野の教育・研究成果を国際的に発信し、国内外で役立てる能力と意欲のある人。

水産学専攻

水産学専攻では、自然と調和した水産業の発展のため、水域の食料生産や環境保全などの幅広い分野で世界の水産業を牽引できる人材の育成を目指しています。

具体的には、以下に挙げるような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施いたします。博士前期課程への各選考・入学試験では、英語と専門科目の学力試験および口頭試問を行い、各試験が個別に評価されます。また、博士後期課程への入学には口頭試問を行い、研究への取り組み姿勢、目的・背景の理解、遂行能力や修士論文の内容等について総合的に評価しています。

博士前期課程

1. 水産科学に関する基礎的知見を有し、現在の水産業が抱える問題点に取り組む意志を有する人。
2. 水産学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の読解力と理解力を有する人。
3. 自然環境との共生を理解し、魚介類の生産から加工までの水産業全体を掌握する広い知識、応用力、実践力の修得を目指す人。
4. グローバル化した産業と研究のニーズに対応するため、コミュニケーション能力と国際的発信力の強化に意欲を有する人。

博士後期課程

1. 水産科学に関する基礎的知見を有し、現在の水産業が抱える問題点に対して技術者、研究者、指導者としての視点で解決方法を学修・研究する意志を有する人。
2. 水産学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の高度な読解力と理解力とともに、情報を効果的に利用できる能力の修得を目指す人。
3. 魚介類の生産から加工までの水産業全体を掌握する幅広い知識、自然環境との共生の理解、柔軟かつ独創的な応用力、実践力について各分野の専門家としての修得を目指す人。
4. グローバル化した産業と研究のニーズに対応するため、本専攻分野の教育・研究成果を国際的に英語で発信し、国内外で役立てるコミュニケーション能力の修得意欲を有する人。

応用生命化学専攻

応用生命化学専攻では、生命現象を化学的視点から理解することによって生命の特性を活用し、人類が直面する課題の解決に挑む人材の育成を目指して、以下の能力を有する入学者を国内外から広く受け入れます。入学選考では、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実

施します。各選考・入学試験においては、志願者の基礎学力やコミュニケーション能力について、学力試験（英語と専門科目）、口頭試問などを適宜実施し、総合的に評価します。また、口頭試問に関しては、以下に挙げる3つの項目をもつ人材をルーブリック（専攻分野に関連した研究の理解（前・後期課程）、コミュニケーション能力（前・後期課程）、論理的思考力（後期課程）、研究意欲（前・後期課程））で総合的に評価します。

博士前期課程

1. 本専攻の教育と研究理念を理解し、修得するのに必要な基礎学力・語学力を有し、生命、資源、食料、環境に関する最先端の研究を生物と化学の融合領域で行い、応用に結びつける意欲を有する人。
2. 主体的に行動し、情報収集能力があり、問題解決に向けてチャレンジ精神のある人。
3. 教育・研究成果を社会に役立てるため、国際的に発信する意欲を有する人。

博士後期課程

1. 本専攻の教育と研究理念を理解し、修得するのに必要な学力・語学力を有し、生命、資源、食料、環境に関する最先端の研究を生物と化学の融合領域で行い、応用に結びつける意欲を有する人。
2. 論理的思考力および記述能力、口頭発表能力を有し、主体的に行動し、情報収集能力があり、問題解決に向けてチャレンジ精神のある人。
3. 修学・研究成果を社会に役立てるため、国際的に発信し相互理解を深め、当該研究分野で世界をリードする意欲を有する人。

環境管理学専攻

環境管理学専攻では、本学の建学精神である実学教育と人格の陶冶をふまえ、持続可能な農林水産業の展開と生物多様性の保全に必要な知識と技術を修得し、育まれた高度な能力をもって、人類が直面する環境問題の解決に貢献できる人材を育成します。

以下に挙げたような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では口頭試問を行い、ルーブリックにより評価されます。

博士前期課程

1. 環境管理学専攻の教育・研究分野と理念・目標を理解し、環境管理学を修得するのに必要な基礎学力と研究意欲を有する人。
2. 人類と自然の共生をめざし、開発と保護の調和をはかるための問題解決能力の修得をめざす人。
3. 研究成果を社会に発信できる語学力やコミュニケーション能力を修得する意欲を有する人。

博士後期課程

1. 環境管理学専攻の教育・研究分野と理念・目標を理解し、環境管理学を修得するのに必要な学力と、地球規模の環境問題の解決をめざす高い研究意欲を有する人。
2. 人類と自然の共生をめざし、開発と保護の調和をはかるための専門知識、研究能力、思考力、問題解決能力の修得をめざす人。
3. 研究成果を世界に発信できる語学力やコミュニケーション能力を修得し、国際的に活躍する意欲を有する人。

バイオサイエンス専攻

バイオサイエンス専攻は、本学の建学精神である「実学教育」と「人格の陶冶」をふまえ、生物の多様な機能に着目した研究を通して、その原理を理解し、得られた成果を社会にフィードバックできる柔軟な思考力と創造力を持ち、人類が抱える食料・医療、創薬、エネルギーの諸問題を解決できる人材を育成します。これを実現するために、以下に挙げるような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れることを目的とし、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施いたします。

博士前期課程の各選考・入学試験においては、志願者の基礎学力やコミュニケーション能力について、学力試験（英語と専門科目）、口頭試問などにより総合的に評価します。また、口頭試問に関しては、以下の項目についてルーブリック（大学院における学修に対する意欲、研究目的・背景の理解、卒業研究結果の理解、専門知識）で総合的に評価しています。

博士後期課程の各選考・入学試験においては、研究に関するプレゼンテーションと口頭試問などにより評価します。また、口頭試問に関しては、以下の項目についてルーブリック（研究の意義の理解、専門知識と課題設定能力、研究遂行能力、プレゼンテーション能力）で総合的に評価しています。

博士前期課程

1. 本専攻博士前期課程の教育・研究を理解、修得するのに必要な動物学、植物学、微生物学、化学に関する知識と語学力を持ち、高い研究意欲を有する人。
2. 独創的なフロンティア精神と探究心を兼ね備えた人。

3. 幅広い視野を持ち、国際的に研究活動を行う意欲と能力を有する人。

博士後期課程

1. 本専攻博士後期課程の教育・研究を理解、修得するのに必要な動物学、植物学、微生物学、化学に関する、より高度で専門的な知識と高い語学力を持ち、問題解決に必要な課題設定能力と高い意識をもって研究を遂行できる人。
2. 研究の学術的・実用的意義を理解し、さらに独創的なフロンティア精神と探究心を兼ね備えた人。
3. 幅広い視野を持ち、研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力、主体的に研究活動を行う意欲と能力を有する人。

生物理工学研究科

生物工学専攻

近畿大学建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」に即して、人類社会の福祉と持続的発展に貢献することのできる人材を育成するために、生物工学専攻は、生物学と工学の学際領域でのバイオテクノロジーを推進します。この理念のもと、動植物・微生物の分子生命工学、生殖再生や生体機能分子工学、生命環境及び食の機能・食の安全工学の分野の高度専門技術者・研究者を志向する次のような人を求めます。なお、入学選考における評価は、生物理工学研究科入学選考における評価基準をもとに行います。

1. 生命現象と科学技術への広い関心・理解を持ち、上記分野の課題解決に意欲を持つ人。
2. グローバル社会に対応した英語力と学部で学んだ専門的知識・技術を併せ持つ人。
3. 国際的な視野と倫理観を持ち、高度な専門力の修得により人類社会への貢献を目指す人。

生体システム工学専攻

生体システム工学専攻では、機械、電気電子、情報通信を支柱とする工学分野と医療・福祉工学、健康科学、生活科学を支柱とするライフサイエンス分野を融合させた生体システム工学に関連する学際的教育研究を実現するカリキュラムポリシーを編成しており、これを通じて本専攻のディプロマポリシーに示す資質・能力を習得した技術者、研究者、すなわち、博士前期課程では、高齢社会に対応したQOLの向上に貢献できる高度専門的職業人（技術者）の育成を、博士後期課程では、より高度な専門知識と豊かな学識に裏付けされた新奇の知見や技術の創出によって循環型知識基盤社会の発展に貢献できる研究者の育成を目指します。

本専攻では、以下にあげるような人物像を備えた人の入学を受け入れます。

1. 生体システム工学の研究を行うに足る学士課程（博士前期課程志願者）または博士前期課程（博士後期課程志願者）における基礎学力及び知識を持った上で、学修・研究に対する意欲や語学を含めたコミュニケーション能力を有する人。
2. 生体システム工学に関する幅広い知識と専門領域における探究心を有し、高度工学技術の修得及び研究を通して科学技術の発展に貢献したい人。
3. 高い倫理観を持つ工学技術者・研究者の観点から生体システム工学分野における諸問題を解決し、同観点から持続可能社会の構築に貢献しようとする人。
4. 国際的な視野を持ち、国際社会の一員として社会貢献を目指す人。

以上にあげるような人物を受け入れるために、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績、学部成績、博士前期課程成績の一部または複数の成績）に加えて口頭試問を課すことによって、学士課程（博士前期課程志願者）あるいは博士前期課程（博士後期課程志願者）における基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者・研究者として社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。外国人留学生入学試験では、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」の結果も加味します。なお、入学選考における評価は、別表に定めた生物理工学研究科入学選考における評価基準のもとに行います。

システム工学研究科

システム工学専攻

システム工学研究科では、高度な専門知識とともに広い視野に立った工学の方法と、国際性や倫理観などを修めるための教育プログラムを提供し、ディプロマポリシーで掲げた研究者や高度専門職業人としての技術者

の育成を目指しています。

この育成を実現するため、次のような入学者を受け入れます。

1. 幅広い教養と実学としての工学分野の能力を発展・深化させたいと望む意欲のある人。
2. 人間と自然が共存できる社会の構築に寄与することを熱望して、高度の技術者・研究者を目指す人。
3. 複雑化する工学的課題に果敢にチャレンジし、探求能力を高めて、グローバルにしかもリーダーとして活躍したい人。

入学選抜の基本方針

システム工学研究科では上記に示す方針に基づき、多様な入試制度を設けています。

博士前期課程

1. 学内推薦入学選考では、学士課程で専攻分野の基礎知識や技能を一定以上の優れた水準で修得し、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の口頭試問を行い、この結果と学部成績を総合的に評価して入学選抜を実施します。
2. 学内入学選考では、学士課程で専攻分野の基礎知識や技能を一定以上の水準で修得し、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の学力試験及び口頭試問を行い、これらの結果と学部成績を総合的に評価して入学選抜を実施します。
3. 一般入学選考では、学士課程における専門知識を十分身につけ、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の学力試験及び口頭試問を行い、これらの結果を総合的に評価して入学選抜を実施します。
4. 社会人入学選考では、在職経験によって培った知識及び技術をさらに深化させ、高度な研究能力と社会の要請に対応できる総合的な応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の口頭試問を行い、この結果と出願時の提出書類を総合的に評価して入学選抜を実施します。
5. 外国人留学生入試では、学士課程修了者と同等な専門知識を有し、当研究科に必要な最低限のコミュニケーション能力をもち、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。語学の学力評価に関する外部資格検定試験の活用と外国語、専門科目の記述試験、口頭試問及び書類審査を行い、これらの結果を総合的に評価して入学選抜を実施します。

博士後期課程

1. 一般入学選考では、博士前期課程における専門知識と研究能力を十分身につけ、先端科学技術を主体的に修得する意欲と、新しい研究分野を開拓する意欲、高度な専門的業務に必要な学修に取り組む意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の学力試験及び口頭試問を行い、これらの結果を総合的に評価して入学選抜を実施します。
2. 社会人入学選考では、在職経験を有する者で、博士前期課程における最低限の専門知識と研究能力を十分身につけており、先端科学技術を主体的に修得する意欲と、新しい研究分野を開拓する意欲、高度な専門的業務に必要な学修に取り組む意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の口頭試問を行い、この結果と出願時の提出書類を総合的に評価して入学選抜を実施します。
3. 外国人留学生入試では、博士前期課程修了者と同等な専門知識と研究能力を有し、当研究科に必要な最低限のコミュニケーション能力をもち、先端科学技術を主体的に修得する意欲と、新しい研究分野を開拓する意欲、高度な専門的業務に必要な学修に取り組む意欲に溢れた人を選抜します。語学の学力評価に関する外部資格検定試験の活用と外国語の記述試験、口頭試問及び書類審査を行い、これらの結果を総合的に評価して入学選抜を実施します。

産業理工学研究科

産業理工学専攻

産業理工学研究科は、近畿大学の建学の精神と教育の目的に即して、ハードサイエンスとソフトサイエンスの融合のもと、社会に信頼され地球環境に調和する産業科学技術の展開を図り、持続可能な循環型知識基盤社会の発展に貢献できる人材の育成を目指しています。本研究科では、この教育理念に共感し、ディプロマポリシーに示した人材になることを希望する次のような入学者を受け入れます。

博士前期課程

1. 専門分野の知識と技術を修得するための基礎的な学力とコミュニケーション能力を有する人。
2. 専門及び関連分野の知識や技術を修得し、専門家として自立する意欲のある人。
3. 自ら学ぶ意欲をもち、多角的な視点から新たな知見や技術を創出する情熱のある人。

博士後期課程

1. 専門分野の高度な知識と技術を修得するための専門性と研究能力を有する人。
2. 専門及び関連分野の知識や技術を幅広く深化して、専門領域を極める意欲のある人。
3. 自ら行動し、失敗を恐れずチャレンジして、既成概念にとらわれることなく多角的な視点から新しい価値を創り出す意欲のある人。

本研究科では、このような人を受け入れるために、学内推薦入学選考・学内入学選考（博士前期課程のみ）、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。学内推薦入学、社会人入学選考では専修科目に関する口頭試問試験により合否判定を、その他の選考・入学試験では、筆記試験と専修科目に関する口頭試問試験を行い両方の結果を統合して合否判定を行います。

口頭試問においては、アドミッションポリシーの各項目に記載された能力、意欲、情熱を評価するための基準をルーブリック評価に定め、これに沿って公平で客観的な評価を行います。

個人情報の保護

本学志願時に出願書類に記入いただいた住所、氏名その他個人情報は、

1. 受験票、入学試験結果通知、合格通知および入学手続書類発送
2. 学生生活を始めるのに必要な情報の提供
3. 個人を特定しない各種統計資料作成
4. 在留資格認定証明書交付申請（大学代理申請）

を行うためにのみ利用いたします。

上記1～4の作業は、場合により本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「委託業者」といいます）において行うことがあります。

業務委託にあたり、記入いただいた個人情報の全部または一部を委託業者に提供することがありますが、上記1～4にのみ利用し、委託業務を超えた利用はありません。

予めご了承ください。

近畿大学大学院における外国人留学生入学試験は、本学大学院への入学を希望する外国人留学生を対象として行われるものです。

1. 募集研究科・専攻・募集人数

研究科	専攻	課程	募集人員
法学研究科	法律学専攻	博士前期課程/ 博士後期課程	各研究科とも若干名
商学研究科	商学専攻	博士前期課程/ 博士後期課程	
経済学研究科	経済学専攻	博士前期課程/ 博士後期課程	
総合理工学研究科	理学専攻/環境系工学専攻	博士前期課程/ 博士後期課程	
薬学研究科	薬科学専攻(創薬科学コース/生命薬科学コース)	博士前期課程	
	薬科学専攻	博士後期課程	
	薬学専攻(医療生命薬学コース)	博士課程	
総合文化研究科	日本文学専攻(言語・文学コース/創作・批評コース)	修士課程	
	英語英米文学専攻		
	文化・社会学専攻(歴史学コース/現代文化学コース/社会学コース/都市学コース)		
	心理学専攻(心理学コース/臨床心理学コース)		
農学研究科	農業生産科学専攻/水産学専攻/応用生命化学専攻/環境管理学専攻/バイオサイエンス専攻	博士前期課程/ 博士後期課程	
生物理工学研究科	生物工学専攻/生体システム工学専攻	博士前期課程/ 博士後期課程	
システム工学研究科	システム工学専攻(生物化学コース/機械工学コース/ロボティクスコース/電子情報工学コース/情報コース/建築コース)	博士前期課程	
	システム工学専攻	博士後期課程	
産業理工学研究科	産業理工学専攻	博士前期課程/ 博士後期課程	

2. 試験場（前期入試・後期入試）

研 究 科	試 験 場
法学研究科、商学研究科、経済学研究科、総合理工学研究科、薬学研究科、総合文化研究科	東大阪キャンパス
農学研究科	奈良キャンパス
生物理工学研究科	和歌山キャンパス
システム工学研究科	広島キャンパス
産業理工学研究科	福岡キャンパス

3. 入試日程等

区 分	インターネット出願および 検定料支払期間	出願書類受付期間	試験日(※1)	合格発表日
前期入試 (日本国内居住者・ 日本国外居住者)	2025年 8月25日(月) ～8月28日(木)	【日本国内居住者】 2025年8月25日(月) ～8月28日(木)(消印有効)	2025年 10月11日(土)	2025年 11月7日(金)
		【日本国外居住者】 2025年8月25日(月) ～9月1日(月)(必着)		
後期入試 (日本国内居住者)	2026年 1月8日(木) ～1月15日(木)	2026年1月8日(木) ～1月15日(木)(消印有効)	2026年 2月21日(土)	2026年 3月10日(火)

- ※1 入試予備日について：台風・雪・地震等による災害その他特別な事情により、上記に定めた期日に実施できず、または完了しなかった試験分については下記の試験予備日に実施します。この場合の合格発表日・手続期間は改めて通知します。さらに予備日での実施が困難な場合も、改めて通知します。

入学試験日	試験予備日
2025年10月11日(土)	2025年10月18日(土)
2026年2月21日(土)	2026年2月28日(土)

- ※2 複数の志願先を選択することはできません。
- ※3 出願資格について疑問のある場合は、出願開始日より1か月前までにお問い合わせください。
- ※4 日本国内居住者とは、出願時に長期の在留資格により日本に滞在し、住民票を発行できる者。日本国外居住者とは、上記以外の者。

4. 出願資格

(1) 博士前期課程・修士課程

- a. 外国籍を有する者で、かつ下記①～②のどちらかを満たす者
 - ①外国において、学校教育における16年目の課程を修了し学士の学位を取得した者または2026年3月までに修了かつ学士の学位を取得することが見込まれる者
 - ②上記①と同等以上の資格を有すると本学が認めた者
- b. 「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の在留資格について下記①または②に該当する者
 - ①日本国内居住者は、出願時に在留資格「留学」を有する者
 - ②日本国外居住者は、入学後に在留資格「留学」を取得できる者
- c. 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が実施する「日本留学試験」において、各研究科が定める科目を受験した者

※総合文化研究科では、日本文学専攻は、日本留学試験「日本語」において記述40点以上かつ総得点350点以上を出願資格とする。英語英米文学専攻、文化・社会学専攻、心理学専攻は、日本留学試験「日本語」において総得点300点以上を有することが望ましい。

(2) 博士後期課程

- a. 外国籍を有する者で、かつ下記①～②のどちらかを満たす者
 - ①外国において、修士の学位を取得した者または2026年3月までに修士の学位を取得する見込の者
 - ②上記①と同等以上の資格を有すると本学が認めた者
- b. 「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の在留資格について下記①または②に該当する者
 - ①日本国内居住者は、出願時に在留資格「留学」を有する者
 - ②日本国外居住者は、入学後に在留資格「留学」を取得できる者
- c. 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が実施する「日本留学試験」において、各研究科が定める科目を受験した者

(3) 博士課程（薬学研究科）

- a. 外国籍を有する者で、かつ下記①～②のどちらかを満たす者
 - ①外国において、学校教育における18年目の課程（最終課程は薬学科等の6年制学部）を修了した者または2026年3月までに修了見込の者
 - ②外国において、学校教育における16年目の課程を修了した後、大学院博士前期課程、修士課程を修了した者で、当該研究の成果等により、大学の薬学等の6年制学部を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者
- b. 「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の在留資格について下記①または②に該当する者
 - ①日本国内居住者は、出願時に在留資格「留学」を有する者
 - ②日本国外居住者は、入学後に在留資格「留学」を取得できる者
- c. 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が実施する「日本留学試験」において、各研究科が定める科目を受験した者

(注意) 1. 志願者は出願前に下記「研究科概要」より専修科目及び担当教員を確認の上、志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認してください。担当教員の連絡先が分からない場合は本要項1ページの「授業科目に関する問い合わせ先一覧」に記載の各学生センターにお問い合わせください。

研究科概要

<https://www.kindai.ac.jp/campus-life/international-exchange/foreign-student/exam/>

- 2. 安全保障輸出管理について：近畿大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「近畿大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際し厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合には、希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますので、ご留意ください。なお入学時には、「外国為替及び外国貿易法」およびこれに基づく関連法令を遵守する誓約書に署名していただきます。

3. 前期入試志願者については、「日本国外居住者」、「日本国内居住者」とも出願できます。
4. 後期入試志願者については、「日本国内居住者」のみ出願できます。

5. 出願手続

(1) 出願方法

インターネット出願ページにアクセスし、出願情報を登録後、入学検定料を支払い、ダウンロードした宛名用紙を封筒に貼り付け、出願書類一式をグローバルエデュケーションセンターまで「簡易書留速達」で郵送してください。日本国外から出願する場合は必ず国際宅急便（DHL、OCS 等）を利用し迅速に届く方法で送付してください。

(2) 入学検定料

32,000円

銀行振込、コンビニエンスストアでの支払、クレジットカード支払が選択できます。

一度納入された入学検定料は、返還いたしません。

(3) 郵送先・問い合わせ先

近畿大学東大阪キャンパス 1号館2階 グローバルエデュケーションセンター

住 所：〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

電 話：(06) 4307-3081（海外からの場合：+81-6-4307-3081）

FAX : (06) 6729-2387（海外からの場合：+81-6-6729-2387）

E-mail : isc@itp.kindai.ac.jp

受付時間：月～金 9：00～17：00（土曜・日曜・祝日を除く）

(4) 注意

- ※1 グローバルエデュケーションセンターへの直接持ち込みは一切受け付けません。
- ※2 入学検定料が期間内に支払われていても、出願書類一式が受付期間に届かない場合や本要項に記載する要件を満たさない場合は、出願を受理しません。
- ※3 出願書類受付期間後に到着した出願については、郵便事情の不具合等の出願者に責任がない場合であっても受理しません。
- ※4 郵送上のトラブルで書類の未着や遅配が発生した場合でも、本学では一切責任を負いません。
- ※5 一度提出された出願書類は、出願が受理されなかった場合も含めて返還できません（手続の記録として一定期間保管のうえ、適切に廃棄します。）。
- ※6 出願後のお問い合わせについては、お答えできない場合があります。

(5) 出願の流れ (Web で登録⇒検定料払い込み⇒書類提出)

※一部変更になる可能性もあります。

1. 事前準備

必要書類は、発行に時間がかかる場合がありますので、できるだけ出願前に準備をしてください。



2. インターネット出願ページにアクセス

検索サイトから「近大外国人留学生」で検索、または直接、以下の URL から近畿大学外国人留学生入試情報サイトにアクセスし、「出願する」のボタンをクリックしてください。

<https://www.kindai.ac.jp/campus-life/international-exchange/foreign-student/exam/>
最初に、『インターネット出願トップ画面』の「出願の流れ(このサイトの使い方)」を必ずよく読んでください。



3. 出願

「インターネット出願トップ画面」の「試験日程一覧(出願情報の登録)」から出願する試験制度の下にある「出願する」ボタンをクリックし、「UCARO」ログイン(会員登録が未登録の方は、【UCARO 会員登録】の手順で登録してください。)してください。

ログイン後、①志望情報入力→②個人情報入力の順番に入力してください。



※登録完了後と入金完了後に完了メールを送信します。携帯メールの場合は、ドメイン(@ucaro.jp)の受信許可をしてください。

※確認メールが迷惑メールフォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

※UCARO会員登録では、本登録用のメールを送信します。携帯メールの場合は、ドメイン(@ucaro.net)の受信許可をしてください。

【UCARO登録方法】



①出願する試験制度の「出願する」を選択する



②「会員登録はこちら」を選択する。(UCARO新規会員登録ページに移動します。)



③同意条項に同意後、メールアドレスを入力し、「送信する」をクリックしてください。
入力したアドレスに「会員本登録のご案内」のメールが届きますので、本文に記載のURLをクリックしてください。(UCARO新規会員登録ページに移動します。)



④本会員登録に必要な必須項目の登録を完了してください。
以降、①の操作を再度行い、②の画面でメールアドレス、パスワードを入力して「ログインする」をクリックしてください。
以降、出願登録が始まります。

※「会員本登録のご案内」のメールを送信します。ドメイン(@ucaro.net)の受信許可をしてください。

※UCARO をご利用になる際は、ここで登録したメールアドレスと UCARO パスワードでログインできます。

写真アップロード方法

出願内容登録後、以下の手順で写真データのアップロードをしてください。
出願写真データの詳細は下記〈出願写真データについて〉をご確認ください。



①必要書類確認・写真アップロードの画面に表示される〔出願写真をアップロード〕ボタンを押してください。



②出願写真アップロード画面にある「出願写真に関する注意事項」を読み、「ファイル選択」ボタンを押してパソコン・スマートフォンの端末に保存されている写真を選択してください。選択後〔写真の加工に進む〕ボタンを押してください。



③ドラッグによる画像位置の移動や、回転・拡大・縮小、明るさの調整等ができます。画面の指示にしたがって操作し、〔切り抜く〕ボタンを押してください。



④最後に確認事項をよく読み、すべてにチェックを入れたら〔出願写真として提出する〕ボタンを押してください。これで出願写真のアップロードは完了です。

※前ページに戻る場合は、ブラウザの[戻る]ボタンを使用せずに、画面内の[戻る]ボタンを使用してください。

〈出願写真データについて〉

- ・出願3か月以内に撮影した受験者本人のみが写ったカラー写真（モノクロ・スナップ写真は不可）
- ・上半身、正面（焦点が合ったもの）、無帽（ヘアバンドも不可）、背景無地、枠無しものを使用してください。
- ・制服、私服は問いません。ただし、入学が許可された場合には、**この写真は入学後に交付する学生証の写真として使用します。卒業時まで写真交換はできません。**
- ・眼鏡着用の場合、レンズは無色透明（ブルーライトカットレンズ等の反射するものは不可）で、レンズに光が反射していないものに限ります。
- ・画像に加工を施していないこと。また、不鮮明なもの（背景と人物の境目がわかりにくいもの等）、サングラス・マスクや髪や影で目元輪郭を隠している、目を閉じている等、個人の判別、本人確認が困難な写真は使用できません。
- ・平常の顔貌と著しく異なるもの（たとえば、口を開き歯が必要以上に見えるものは不可）
- ・変色や傷、汚れのないもの
- ・証明写真等、プリントアウトした写真を撮影したものは不可。
- ・ファイル形式：JPEG、10MB以内

●受け付けできる写真例



- ・上部に隙間がある。
- ・水平かつ正面を向いている。
- ・顔の大きさが全体の3分の1以上ある。
- ・両目の瞳が確認できる。
- ・肩の一部が写っている。

【不適当な写真例】※次のような写真の場合は、再請求することがあります。

①頭がきれている



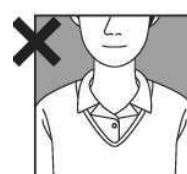
②写真が全体的に暗い（影になっている）



③背景に余計なものが写っている



④プリントされた証明写真をスマートフォンのカメラで撮影している



※出願写真データは画面上でサイズを調整して登録することができますので、顔がはきり映るよう適宜調整してください。（顔が大きすぎる、小さすぎるものは不可）
※出願写真として適切でないと判断された場合は、再出願になることがあります。出願期間内に再提出を行わない場合、出願は受理できません。
※一度受理された出願写真データは、変更することはできません。



4. 入学検定料の支払い

クレジットカード、コンビニ、金融機関ATM（Pay-easy）、ネットバンキングのいずれかの方法でお支払いいただけます。
『出願登録完了画面』から「決済方法を選択する」ボタンを押して『決済方法選択画面』へ進みます。
決済方法を選択して「決済サイトに進む」ボタンを押し、画面の案内に従ってお支払いください。
※入学検定料の他に手数料が必要です。



①コンビニエンスストア

現金での支払いとなります。
＜支払手順＞

セブンイレブン	ローソン ミニストップ (Loppi)	ファミリーマート (マルチコピー機)	セイコーマート	デイリーヤマザキ
				
↓ レジにて 「インターネット 支払い」と 店員に伝え、 プリントアウト した【払込票】 を渡すか、 【払込票番号】 を伝え お支払ください。 ※プリントしな かった場合は、 番号を伝える のみでOKです。 マルチコピー機 は使用しません	各種サービス メニュー	代金支払い (コンビニでお支払い)	レジで店員に 「インターネットの 支払」と伝える	レジで店員に 「オンライン 決済」と伝える
	各種代金・ インターネット 受付・スマート ビットのお支払い			
	各種代金お支払い	番号入力画面に 進む	「オンライン決済番号」を入力	
	マルチペイメント サービス	「お客様番号」を 入力		
	「お客様番号」を 入力	「確認番号」を 入力		
	「確認番号」を 入力	同意して利用する		
	出願情報が正しければ 「確認」「印刷」ボタンを押す 端末より申込券が出るので30分以内に レジにて入学検定料を現金にて支払う		レジにて入学検定料を現金にて支払う	

※上記画面は変更される場合があります。

②クレジットカード

以下のロゴマークがあるクレジットカードで支払うことができます。



本人確認のため、クレジットカードに記載されている情報を入力しますので、出願前にクレジットカードを準備してください。支払い方法は一括払いのみです。
クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。

<支払手順>

↓	出願登録完了画面を開く
	「クレジットカードで支払う」を選択
	画面の案内にしたがい、クレジットカードの情報を入力する

③金融機関 ATM【Pay-easy】

以下の支払い可能金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。1 回の出願につき、現金では 10 万円未満、キャッシュカードでは 100 万円未満の支払いが可能です。

(利用可能な金融機関の一例)

- ・ ゆうちょ銀行
- ・ みずほ銀行
- ・ りそな銀行 / 埼玉りそな銀行
- ・ 三菱UFJ 銀行
- ・ 三井住友銀行

■ 支払い可能金融機関は下記ページの「ATM 利用可能一覧」を確認してください。

<https://multiple-payment.biz/pages/financial-institution-list.html>

<支払手順>

↓	「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択
	「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」を入力
	現金またはキャッシュカードを選択して、入学検定料を支払う



④ネットバンキング

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。

事前に金融機関にて申し込みが必要です。

また、楽天銀行、PayPay銀行、auじぶん銀行、住信SBIネット銀行でも支払うことができます。事前に金融機関にて口座の開設が必要です。



<支払手順>

↓	出願登録完了画面を開く
	「コンビニ、金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキングのいずれかで支払う」を選択
	ネットバンキングの契約をしている金融機関を選択し、ログインする



5. 出願書類の郵送

登録完了画面から「宛名ラベル」を印刷して封筒に貼付し、出願書類一式を「宛名ラベル」に記載の住所（グローバルエデュケーションセンター）まで下記のとおり郵送してください。

【日本国内居住者】

出願期間内に郵便局の窓口から簡易書留・速達で郵送してください。

【日本国外居住者】

国際宅急便（DHL、OCS等）で郵送し、出願期間内に到着させてください。



注意：

- ・登録完了後、検定料を支払い、出願書類を郵送することで出願が完了します。

6. 出願書類

* 本学所定用紙は、下記の WEB サイトからダウンロードしてください。

(<https://www.kindai.ac.jp/campus-life/international-exchange/foreign-student/exam/>)

* 各出願書類には、住民票またはパスポートに記載の氏名を記入すること。

* 学校に関する証明書は学校または公的機関が発行または押印したもの。原則として英語または日本語のもので、それ以外の場合は補足書類として公的機関、翻訳会社、日本語学校のいずれかで作成または証明された英語訳または日本語訳を提出すること。

* 記載が整合性に欠ける場合は、出願を受理しません。

* 学歴、日本語学習歴、国籍、その他出願書類について、後日虚偽の事実が発見された場合は、合格し入学手続を完了していても入学を取り消すことがあります。

(1) 博士前期課程・修士課程、博士課程（薬学研究科）

提出書類		注意事項
①	出願確認票	写真データのアップロードが必要です。 インターネット出願登録完了後に印刷してください。
②	入学願書	志願者本人が黒のボールペンで記入。
③	研究計画書 【当該研究科志願者のみ】	商学研究科： 書式自由。志望する演習（専修科目）で計画する「研究題目」および「研究計画書」（500字程度）。出願前に必ず志望する演習（専修科目）教員または経営学部学生センターに相談してください。 経済学研究科： 書式自由。志望する演習（専修科目）で計画する「研究題目」および「研究計画書」（500字程度）。 総合文化研究科： 書式自由。志望する演習（専修科目）で計画する「研究計画書」（1200字程度）。
④	日本留学試験（EJU） 「日本語」成績確認書	【前期入試】 2024年第2回、2025年第1回のどちらか1回分を提出。 【後期入試】 2025年第1回、2025年第2回のどちらか1回分を提出。 ●A4用紙縦向きで提出。 ●日本国外でEJUを受験した者に限り成績通知書のコピー提出可。
⑤	【日本国内居住者】 住民票の写し	3カ月以内に発行されたもので、国籍・在留資格（留学）・在留期間の満了の日（出願時以降の日付）が記載されているもの。 ●在留期間の満了の日が出願前の日付で、出願時に在留期間更新許可申請中の特例期間にあたる場合、補足資料として「在留期間更新許可申請中」のスタンプが押されている在留カードの表・裏のコピー（A4）を提出。
	【日本国外居住者】 パスポートのコピー	有効期限内のもので、氏名、生年月日、国籍、顔写真が確認できるページ。
⑥	大学の卒業（見込）証明書	
⑦	学士学位の取得（見込）証明書	「⑦大学の卒業（見込）証明書」に学士学位の取得（見込）証明も含まれる場合は提出不要。
⑧	大学の成績証明書	全学年分の成績が記載されているもの。
⑨	英語能力証明書類のコピー 【当該研究科志願者のみ】	商学研究科： TOEFL iBT [®] 、TOEFL CBT [®] 、TOEIC [®] 、TOEIC [®] IP、IELTS [™] 、実用英語技能検定のうちいずれかの証明書を提出することで、外国語の試験の代わりとすることが可能。スコアの有効期限は、出願締切日から起算し過去2年以内のもの。 経済学研究科： TOEFL iBT [®] 、TOEFL CBT [®] 、TOEIC [®] 、TOEIC [®] IP、IELTS [™] 、実用英語技能検定のうちいずれかの証明書を提出。スコアの有効期限は、出願締切日から起算し過去2年以内のもの。

(2) 博士後期課程

提 出 書 類		注 意 事 項
①	出願確認票	写真データのアップロードが必要です。 インターネット出願登録完了後に印刷してください。
②	入学願書	志願者本人が黒のボールペンで記入。
③	修士論文を日本語または英語で要約したもの	修士課程修了見込で出願の場合は、修士論文の中間報告。 (A4 サイズの原稿用紙2枚程度)
④	日本留学試験 (EJU) 「日本語」成績確認書	【前期入試】 2024年第2回、2025年第1回のどちらか1回分を提出。 【後期入試】 2025年第1回、2025年第2回のどちらか1回分を提出。 ●A4用紙縦向きで提出。 ●日本国外でEJUを受験した者に限り成績通知書のコピー提出可。
⑤	【日本国内居住者】 住民票の写し	3カ月以内に発行されたもので、国籍・在留資格(留学)・在留期間の満了の日(出願時以降の日付)が記載されているもの。 ●在留期間の満了の日が出願前の日付で、出願時に在留期間更新許可申請中の特例期間にあたる場合、補足資料として「在留期間更新許可申請中」のスタンプが押されている在留カードの表・裏のコピー(A4)を提出。
	【日本国外居住者】 パスポートのコピー	有効期限内のもので、氏名、生年月日、国籍、顔写真が確認できるページ。
⑥	博士前期課程・修士課程の修了(見込)証明書	
⑦	修士学位の取得(見込)証明書	「⑥博士前期課程・修士課程の修了(見込)証明書」に修士学位の取得(見込)証明も含まれる場合は提出不要。
⑧	博士前期課程・修士課程の成績証明書	全学年分の成績が記載されているもの。

7. 受験票

電子メールにて、試験日の約1週間前に受験票(電子媒体)のダウンロード先をお伝えします。受験票を印刷の上、試験当日に必ず持参してください。

試験日の3日前までにメールが届かない場合は、グローバルエデュケーションセンターまでお問い合わせください。

8. 選考方法・試験科目・試験時間・配点

日本留学試験(日本語)

利用できる「日本留学試験」	
前期入試	2024年第2回、2025年第1回のどちらか1回
後期入試	2025年第1回、2025年第2回のどちらか1回

研究科独自試験の出題言語：各研究科の試験科目に(注)のあるものを除いて、すべて「日本語」で行います。

法学研究科（前期入試・後期入試）

出願書類、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」、本学独自試験、口頭試問結果を総合して合否を判定します。

●博士前期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
専門科目	専修科目に関する小論文	10：30～11：30	100点
口頭試問	専修科目について	12：30～	—

日本国外居住者については、口頭試問をインターネットを通じて実施し、また、小論文等の郵送による提出を認める場合があります。詳細は法学部学生センターに確認してください（1ページ・問い合わせ先一覧参照）。

（注）専門科目については六法を貸与します。

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

●博士後期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
一般科目	英・独・仏語の中から外国語を1科目選択か、または一般小論文	10：40～12：00	50点
専門科目	専修科目に関する小論文	13：00～14：00	100点
口頭試問	専修科目について	14：30～	—

日本国外居住者については、口頭試問をインターネットを通じて実施し、また、小論文等の郵送による提出を認める場合があります。詳細は法学部学生センターに確認してください（1ページ・問い合わせ先一覧参照）。

（注1）外国語試験については、辞書（たとえば英和・和英または母語と日本語を対照した辞書）2冊以内に限り持ち込みを認めます。（ただし、電子辞書は不可）

（注2）専門科目については六法を貸与します。

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

商学研究科（前期入試・後期入試）

出願書類、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」、本学独自試験、口頭試問結果を総合して合否を判定します。

●博士前期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
外国語	英語（英語能力を証明する書類のスコア未提出者）	10：00～11：00	100点
専門科目	専修科目に関する小論文	11：30～12：30	100点
口頭試問	専修科目について	13：30～	—

（注1）外国語の評価に英語能力を証明する書類のスコアを利用します。口頭試問時に必ず証明書原本を持参してください。

ただし、スコア未提出者に限り外国語の筆記で評価します。

（注2）外国語試験については、辞書（たとえば英和・和英または母語と日本語を対照した辞書）2冊以内に限り持ち込みを認めます。（ただし、電子辞書は不可）

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

●博士後期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
外国語	英語	10：00～11：30	100点
専門科目	専修科目に関する小論文	12：30～13：30	100点
口頭試問	専修科目について	13：45～	—

（注）外国語試験については、辞書（たとえば英和・和英または母語と日本語を対照した辞書）2冊以内に限り持ち込みを認めます。（ただし、電子辞書は不可）

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

経済学研究科（前期入試・後期入試）

出願書類（英語能力証明書類を含む）、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」、本学独自試験、口頭試問結果を総合して合否を判定します。

●博士前期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
専門科目	専修科目に関する小論文	13：30～14：30	100点
口頭試問	専修科目について	15：00～	—

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

外国語

英語能力を証明する書類のスコアを利用して総合的に評価。

（注）TOEFL iBT[®]、TOEFL CBT[®]、TOEIC[®]、TOEIC[®]IP、IELTS[™]、実用英語技能検定のうちいずれかの証明書を提出。スコアの有効期限は、出願締切日から起算し過去2年以内のもの。

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

●博士後期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
外国語	英語	11：00～12：30	150点
専門科目	専修科目に関する小論文	13：30～14：30	100点
口頭試問	専修科目について	15：00～	—

（注）外国語試験については、辞書（たとえば英和・和英または母語と日本語を対照した辞書）2冊以内に限り持ち込みを認めます。（ただし、電子辞書や経済用語辞書は不可）

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

総合理工学研究科（前期入試・後期入試）

出願書類、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」、本学独自試験、口頭試問結果を総合して合否を判定します。

●博士前期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
外国語	英語	11：00～12：00	100点
専門科目	専修科目に関する小論文	13：00～14：00	100点
口頭試問	専修科目について	14：30～	—

（注）出願前に指導教員と相談をしたうえで、英語に堪能と判別できた者は、日本留学試験「日本語」を免除することができます。また、外国語・専門科目・口頭試問についても、英語で受験することができます。

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

●博士後期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
口頭試問（日本語または英語）	志望専攻分野に関する専門試験を含む	10：00～	－

（注1）日本国外居住者は、出願前に指導教員と相談したうえで、インターネットを利用した口頭試問ができます。

（注2）出願前に指導教員と相談したうえで、英語に堪能と判別できた者は日本留学試験「日本語」を免除することができます。

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

薬学研究科（前期入試・後期入試）

出願書類、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」、本学独自試験、口頭試問結果を総合して可否を判定します。

●博士前期課程 薬科学専攻：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
外国語	英語	10：00～11：30	100点
専門科目	創薬科学コース 6科目中、専修科目1科目選択 生命薬科学コース 4科目9分野中、専修科目・分野1つを選択 (社会医療薬科学系特論は公衆衛生学分野に限る)	12：30～14：00	100点
口頭試問	専修科目あるいは専修分野について	14：30～	－

（注）出願前に指導教員と相談したうえで、英語に堪能と判別できた者は、日本留学試験「日本語」を免除することができます。

また「日本語」を免除された者は、外国語・専門科目・口頭試問についても、英語で受験することができます。

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

●博士後期課程 薬科学専攻：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
外国語	英語	10：00～12：00	100点
口頭試問	志望専攻分野に関する専門試験を含む	13：00～	－
専門科目	志望専攻分野に関する専門試験（日本留学試験「日本語」免除者）	14：00～15：30	100点

（注）出願前に指導教員と相談したうえで、英語に堪能と判別できた者は、日本留学試験「日本語」を免除することができます。

ただし、「日本語」を免除された者に対しては、志望専攻分野に関する「専門科目」の筆記試験を実施します。

また「日本語」を免除された者は、外国語・専門科目・口頭試問についても、英語で受験することができます。

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

●博士課程 薬学専攻医療生命薬学コース：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
外国語	英語	10：00～12：00	100点
口頭試問	志望専攻分野に関する専門試験を含む	13：00～	—
専門科目	志望専攻分野に関する専門試験（日本留学試験「日本語」免除者）	14：00～15：30	100点

（注）出願前に指導教員と相談したうえで、英語に堪能と判別できた者は、日本留学試験「日本語」を免除することができます。
ただし、「日本語」を免除された者に対しては、志望専攻分野に関する「専門科目」の筆記試験を実施します。
また「日本語」を免除された者は、外国語・専門科目・口頭試問についても、英語で受験することができます。

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

総合文化研究科（前期入試・後期入試）

出願書類、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」、本学独自試験、口頭試問結果を総合して合否を判定します。

●修士課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
専門科目	専攻分野に関する科目試験	10：00～12：00	200点
口頭試問	主として「研究計画書」について	13：00～	—

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※日本文学専攻は、日本留学試験「日本語」において記述40点以上かつ総得点350点以上を出願資格とする。英語英米文学専攻、文化・社会学専攻、心理学専攻は、日本留学試験「日本語」において総得点300点以上を有することが望ましい。

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

農学研究科（前期入試・後期入試）

出願書類、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」、本学独自試験、口頭試問結果を総合して合否を判定します。

●博士前期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
外国語	英語	10：00～11：30	100点
専門科目	専攻分野に関する科目試験	12：30～13：30	100点
口頭試問	専修科目について	13：50～	—

（注）出願前に指導教員と相談をしたうえで、英語に堪能と判別できた者は、日本留学試験「日本語」を免除することができます。
また、外国語・専門科目・口頭試問についても、英語で受験することができます。

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

●博士後期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
外国語	英語	10：00～11：30	100点
口頭試問	志望専攻分野に関する専門試験を含む	12：30～	—

(注) 出願前に指導教員と相談をしたうえで、英語に堪能と判別できた者は、日本留学試験「日本語」を免除することができます。
また、外国語・口頭試問についても、英語で受験することができます。

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

生物理工学研究科（前期入試・後期入試）

出願書類、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」、本学独自試験、口頭試問結果を総合して可否を判定します。

●博士前期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
外国語	英語	10：00～11：30	100点
専門科目	専攻分野に関する科目試験	12：30～13：30	100点
口頭試問	専修科目について	14：30～	—

(注) 出願前に指導教員と相談をしたうえで、英語に堪能と判別できた者は、日本留学試験「日本語」を免除することができます。
また、外国語・専門科目・口頭試問についても、英語で受験することができます。

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

●博士後期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
外国語	英語	10：00～11：30	100点
口頭試問	志望専攻分野に関する専門試験を含む	13：00～	—

(注) 出願前に指導教員と相談をしたうえで、英語に堪能と判別できた者は、日本留学試験「日本語」を免除することができます。
また、口頭試問についても、英語で受験することができます。

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

システム工学研究科（前期入試・後期入試）

出願書類、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」、本学独自試験、口頭試問結果を総合して合否を判定します。

●博士前期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
外国語	英語	10：00～11：00	100点
専門科目	専攻分野に関する科目試験	11：30～12：30	100点
口頭試問	専修科目について	13：30～	—

（注）外国語については、辞書2冊以内に限り持ち込みを認めます（ただし、電子辞書は不可）。

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

●博士後期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
外国語	英語	10：00～11：00	100点
口頭試問	志望専攻分野に関する専門試験を含む	11：00～	—

（注）出願前に指導教員と相談をしたうえで、英語に堪能と判別できた者は、日本留学試験「日本語」を免除することができます。
また、外国語・口頭試問についても、英語で受験することができます。

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

産業理工学研究科（前期入試・後期入試）

出願書類、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」、本学独自試験、口頭試問結果を総合して合否を判定します。

●博士前期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
外国語	英語	11：00～12：30	100点
専門科目	専攻分野に関する科目試験	13：30～14：30	100点
口頭試問	専修科目について	15：00～	—

（注）出願前に指導教員と相談をしたうえで、英語に堪能と判別できた者は、日本留学試験「日本語」を免除することができます。
また、外国語・専門科目・口頭試問についても、英語で受験することができます。

日本留学試験

受験必須科目
日本語（記述問題含む）

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

●博士後期課程：

本学での独自試験

試験科目	内容	試験時間	配点
口頭試問(日本語または英語)	志望専攻分野に関する専門試験を含む	10:00～	—

(注1) 日本国外居住者は、出願前に指導教員と相談をしたうえで、インターネットを利用した口頭試問ができます。

(注2) 出願前に指導教員と相談をしたうえで、英語に堪能と判別できた者は、日本留学試験「日本語」を免除することができます。

日本留学試験

受験必須科目
日本語(記述問題含む)

※志願者は出願前に志望する専修科目の担当教員に連絡し、研究内容について確認すること。

9. 受験上の注意事項

- ①試験日当日は、各研究科指定の時間までに受験票(試験場案内)に記載された所定の試験会場に直接入場し、試験室の指定された受験番号の席に着席してください。
- ②受験票を必ず持参してください。
- ③筆記用具は HB の黒鉛筆・シャープペンシルに限ります。消しゴムと鉛筆削りも各自で持参してください。
- ④定規、コンパス、計算・辞書などの諸機能付き時計、電卓等は使用できません。
- ⑤試験会場では試験監督者の指示に従ってください。
- ⑥携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等の電子機器類を持参する場合は、必ず電源を切っておいてください。なお、電子機器類を時計代わりに使用することも禁じますので、腕時計などを必ず持参してください。
- ⑦不正行為を行った場合は退出を命じ、全科目を無効とします。また、1科目でも受験しなかった場合も、試験はすべて無効となります。
- ⑧試験当日の昼食については、各自で用意をしてください。
- ⑨試験開始から30分以上遅刻した者は、すべての科目を受験することができません。
- ⑩試験時間途中の退出はできませんが、体調不良など特別な場合は、監督者に申し出てください。

10. 合格発表

受験者全員に対して、入学試験結果通知書を郵送します。また、合格者には合格通知書とともに入学手続きに必要な書類一式も同封します。

※合否等についての電話、郵便等によるお問い合わせには一切応じません。

11. 入学手続

(1) 入学手続方法

入学手続の詳細は、合格通知書と同封の書類を参照してください。

(2) 入学手続日程

試験区分	入 学 手 続 期 間	入 学 手 続 金 納 入 方 法
前期入試	第一次入学手続 2025年 11月7日(金)～11月26日(水) 第二次入学手続 2025年11月7日(金)～ 2026年1月14日(水)	〔一括納入する方法〕 第一次入学手続期間に入学金と前期授業料等を一括して納入してください。 〔第一次と第二次の2回に分けて納入する方法〕 第一次入学手続期間に入学申込金を納入し、第二次入学手続期間に前期授業料等を納入してください。入学手続に必要なすべての学費を納入された時点で「入学申込金」は「入学金」として取り扱います。
後期入試	2026年 3月10日(火)～3月16日(月)	一括納入のみ 入学金と前期授業料等を一括して納入してください。

12. 入学辞退

入学手続完了者が入学を辞退される場合、所定の入学辞退手続が必要です。

手続方法や入学辞退の申し出に必要な「入学辞退に伴う学費等返還願」の用紙は、合格通知書（入学手続書類等）に同封します。

(注1) 日本国外居住者で在留資格認定証明書が交付されなかった場合、学費等（入学金含む）を返還します。また在留資格認定証明書を取得したにもかかわらず、日本への入国ができない場合は、入学金を除く学費等を返還します。

(注2) 手続書類提出締切後は受付できません。

13. 学費等

下記HPをご参照ください。

<https://www.kindai.ac.jp/campus-life/tuition-scholarships/tuition/>

※入学年度の情報が未更新の場合もありますが、ご了承ください。

14. 2025年度 大学院・外国人留学生入学試験結果表

(前期・後期入試合算)

(単位：人)

研究科	区分	出 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数
法	学	1	1	0
商	学	2	2	2
経 済	学	0	0	0
総 合 理 工 学	学	1	1	0
薬	学	0	0	0
総 合 文 化	学	2	2	0
農	学	0	0	0
生 物 理 工 学	学	0	0	0
シ ス テ ム 工 学	学	0	0	0
産 業 理 工 学	学	0	0	0
合 計		6	6	2

15. 2025年度 近畿大学外国人留学生特待生・奨学金実績

- (1) 特待生・・・授業料を全額免除 採用者（入学者）1人
(対象：1年生) 外国人留学生入学試験の評価が特に優秀な者
2年次以降も在学時の評価が特に優秀であれば、特待生として継続することができます。
- (2) 第1号給付・・・入学金相当額（一時金） 採用者（入学者）0人
(対象：1年生) 外国人留学生入学試験の評価が優秀な者
- (3) 第2号給付・・・月額80,000円（8、9月を除く1年間） 採用者2人
(対象：2年生以上) 2年次以降の学生から総合評価により選出

16. 在留資格認定証明書の申請について（出願前に必ずよくお読みください）

【日本国外居住の場合】

留学生として日本に滞在するには「留学」の在留資格が必要です。在留資格「留学」の資格を取得するため、日本国政府法務省出入国在留管理庁へ「在留資格認定証明書」交付申請をします。交付後、本人が日本領事館等でビザ（査証）申請手続きをすることになります。

◎「在留資格認定証明書」交付申請については、近畿大学による代理申請を行います。

所定の在留資格認定証明書交付申請書類を入学手続時に提出することにより、大学代理申請を願い出ることができます。申請結果について、大学に対し異議を申し立てることはできません。大学代理申請を行う場合の申請書類は、合格者に別途ご案内いたします。